

みちのく GIDAS (ジードス) 紹介

東北地質調査業協会

理事長 早坂 功

(公)地盤工学会東北支部と(社)東北建設協会とが共同開発した「とうほく地盤情報システム『みちのく GIDAS (ジードス)』」の運営協議会が、平成 22 年 12 月 13 日に設立されました。当協会も協議会の構成会員として、準備会及び設立総会に参加しております。

【『みちのく GIDAS』とは】

東北地域においてこれまで蓄積された地盤・地質・地盤災害データを広く収集・電子化し、GIS(地理情報システム)上にデジタル地盤情報データベースとしてインターネット上に構築したものです。

また、これまで国・自治体・企業等が独自に保有していた情報の共有化を図ることにより、情報の有効活用を目的としています。

【『みちのく GIDAS』で、出来ること(無料閲覧)】

インターネット上にシステムが構築されているため、特別なソフトウェアをインストールしなくても、無料で閲覧することが出来ます(ボーリング柱状図は、フリーウェアをインストールすることにより閲覧できます)。

また、地図上に、各情報(地盤情報・災害情報)を重ねて表示することができるため、視覚的にわかりやすい表示が出来ます。

例：地質情報の上に、災害情報を重ねて表示することで、地質と被害の関係をより分かりやすく表示することができます。

【ユーザー独自のレイヤー(有料オプション)】

収容データの他に、有料会員として登録をすれば、独自に公開・非公開レイヤーを持つことができ、独自の GIS データベースとして安価に利活用できます。レイヤー上の座標ポイントには PDF ファイルをリンクすることができるため、写真・図面・データ等各種の情報を登録することができます。

なお、レイヤーとは、重ねることができ

る透明フィルムのようなもので、何も描かれていない部分は透明として扱われるため、何枚も重ねたり取り替えたりすることができます。

【現在、収容されているデータ】

1. 地質情報(ボーリング柱状図)
 - ① 国土地盤情報検索サイト「Kunijiban」(抜粋)
2. 建設技術者のための東北地方の地質
 - ① 東北地方デジタル地質図エリア
 - ② 東北地方デジタル地質図ライン
 - ③ N 値等深度分布図
3. 災害情報
 - ① 宮城県沖地震(1978年)
 - ② 日本海中部地震(1983年)
 - ③ 岩手・宮城内陸地震被害情報(2008年)

【運営協議会の構成】

1. 会長：(公)地盤工学会東北支部長
2. 会員(学会・業界団体等)：(公)地盤工学会東北支部、(社)東北建設協会、(社)全国地質調査業協会連合会東北地質調査業協会、(社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(社)宮城県宅地建物取引業協会、ほか業団体
3. 会員(国・地方公共団体、公共企業体等)：国土交通省東北地方整備局、東北各県(宮城県ほか)、東北各市町村、東北電力(株)、東日本高速道路(株)東北支社、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)東北支店、ほか公共企業体など

